

スカイラインGTS改 T04Eターボ

by トライアル



**補器類交換で、
グリーンとパワーアップ!**

ターボ車のチューニングは、エンジン内部まで手を入れなくても、補器類、つまりタービンや排気系の交換だけでグリーンとパワーアップが可能だ。乗りやすく、耐久性もあり、そして速い! これ、ストリートの鉄則だぜ。

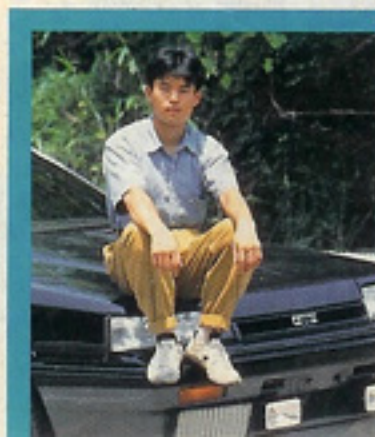
エンジン内部には一切手を加えず、補器類のみのチューニングでグッとパワフルに変身させたのが、このスカイラインGTSだ。

まず純正のセラミックタービンを取っ払い、ギャレット製T04E(A/R0.50)に交換。排気系もオリジナルのタコ足とスポーツマフラーで効率アップしている。マキシマム・パワーは330ps、それも排気量はオリジナルの2分の1のままだからスゴイ。

その走りだが、低速域、2000~3000rpmあたりではノーマルと変わりなく、至ってフレキシブルだ。しかし、タコメーターが3800rpmを過ぎると、本領発揮。

ブーストメーターがピーンと11kg/cmを指し、1350kgのボディをグイグイ引っ張ってくれる。そしてこの気持ちいい加速が、レッドの7500rpmまで続くのだ。ストリートはもちろん、ワインディング、高速クルージングまですべてをカバーできるマシンといえよう。

室内にはターボタイマー、Rebicが取り付けられている



今のチューニングに十分満足しています」とオーナー



360cc容積のサブインジェクターを2本セット、それをRebicでコントロールする。オリジナルのスチール製タコ足の下に、ギャレットT04Eタービンが収まる。最高出力は330ps